名探偵コナン 黒鉄の魚影

概要

第25作『ハロウィンの花嫁』が2022年4月に上映された際に流された、劇場版シリーズ定番となっている本編終了後の次回作予告では、黒の組織の登場とシェリー(灰原哀)がキーパーソンとなることが示唆されていた。2022年11月7日、劇場版『名探偵コナン』第26作の公開が、YouTubeの東宝MOVIEチャンネルで解禁された「劇場版『名探偵コナン2023』超特報【2023年GW公開】」と題した特報によって発表された。この特報映像は、第25作『ハロウィンの花嫁』のハロウィン再会(リバイバル)上映での本編終了後に突如流された特報映像である。映像は、かつて黒の組織の一員(シェリー)であった灰原哀にフィーチャーされ、再会上映の初日からSNSで大きな話題となった30秒の映像である。また、2023年GW公開であることとともに、映像の最後でタイトルロゴが表示され、サブタイトルの1文字目が"黒"であることも明かされた。2022年11月30日に、『週刊少年サンデー』2023年1号にて、2023年4月14日公開であることが発表された。タイトル、ビジュアルも解禁され、監督は立川譲、脚本は櫻井武晴、音楽は菅野祐悟が担当することが公表された。黒の組織が劇場版に関わるのは、第20作『純黒の悪夢』以来6作ぶりとなる。また、黒の組織のナンバー2にあたるラムや、赤井秀一、安室透(バーボン)の登場も示唆されており、安室は前作に引き続き登場となる。ラムの素顔がアニメに登場するのは、TV版に先行して劇場版である本作のPVが初である。

ストーリー

ドイツのフランクフルトでキール(水無怜奈)は、ユーロポールの女性職員ニーナを追跡していた。ニーナは逃げな がら、友人であるFBI捜査官のジョディ・スターリングに電話で助けを求める。キールはニーナを追い詰めつつも密か に彼女を逃がそうとするが、ジンが背後からキールの肩ごとニーナを撃ち抜いて殺害してしまう。また、都内ではべ ルモットがバーボン(安室透)に対し、計画が順調であることと、残すは例のシステムで"ある人物"を探すだけだと 語る。コナンは、少年探偵団と一緒に、八丈島のホエールウォッチングツアーが当たるという福引に来ていた。灰原 哀は、その近くで行われていたフサエブランドの限定ブローチの整理券を運よく入手するが、後から来て整理券を受 け取れなかった高齢女性にその整理券を譲った。探偵団たちはみんな福引で外れてしまったが、灰原が高齢女性に整 理券を譲るのを見ていた園子は、そのご褒美として探偵団達をホエールウォッチングに招待する。八丈島のホテルに 向かう車の中で、コナンは八丈島近海にインターポールの海洋施設「パシフィック・ブイ」が建設されたというニュ ースを聞く。それは世界中の警察が持つ防犯カメラを監視できる世界初の施設であり、責任者の牧野洋輔とシステム 開発者の直美・アルジェントが説明していた。その後、ホテルに到着すると沖矢昴(赤井秀一)から電話があり、ユ ーロポールのネットワークセンターに黒の組織のメンバーが侵入し、パシフィック・ブイのシステムにハッキングし たという話を聞く。侵入したのはピンガというコードネームのコーンロウの髪が特徴の男で、組織の最高幹部ラムの 側近だという。さらに、侵入したピンガを目撃した女性職員がジンに殺害されたことと、パシフィック・ブイがユー ロポールのネットワークセンターの回線と接続して本格稼働しようとしていることを知る。その後、コナンらはホエ ールウォッチングのために港を訪れるが、コナンは近くで警視庁捜査一課管理官の黒田兵衛と白鳥警部が乗った船が 出発しようとしているのに気づき、こっそり密航する。船はパシフィック・ブイに到着し、黒田に見つかったコナン は仕方なく同行を許され、黒田らとメインルームでシステムを運営するエンジニア達を紹介される。パシフィック・ ブイのシステムについても説明があり、海中にある膨大なサーバーをもとに、直美が開発した「老若認証」とAIの顔 認証による解析で、防犯カメラの情報を元にあらゆる場所で犯罪者を追跡できるというものだった。牧野は、コナン や黒田たちが見ている前でシステムをユーロポールのネットワークに接続。稼働したシステムの画面には、ヨーロッ パ中の防犯カメラの映像が映し出される。その頃、既に施設内に潜入しているピンガの手引きで、海中からベルモッ トとバーボンがパシフィック・ブイに潜入。休憩に出た直美を拉致し、脱出ポッドで施設外に連れ去った。休憩が終 わっても直美が戻らないことを不審に思った牧野達は、監視カメラを解析して直美の動向を調べ、2人組の清掃員ら しき人物たちに拉致されたことに気付く。脱出ポッドを開閉できる権限を持つのは牧野とメインルームのエンジニア 達だけだったため、コナンはその中に拉致の犯人達の共犯者がいるかもしれないと考える。直美を拉致したベルモッ

トとバーボンは、ウォッカとキールと合流。組織のボスの命令で、パシフィック・ブイのシステムを通して防犯カメ ラに映る組織のメンバーの姿や犯罪の様子を隠滅するため、直美を拉致したのだった。ベルモットは、直美が身につ けていたネックレスが小型のUSBメモリになっているのに気づき、中身を調べる。中にはかつて組織のメンバーだっ たシェリーの写真と灰原の写真を並べたファイルが入っており、老若認証の結果が「一致」と表示されていた。これ を見たベルモットたちは、ベルツリー急行の爆破で死んだはずのシェリーが、子供の姿になって生き延びていた可能 性を考える。ウォッカがこのことをジンに知らせると、ジンは「そっちに合流してから直接確かめる」と言い、シス テムを利用して灰原を見つけ拉致するよう指示する。コナンは八丈島のホテルに戻ると、阿笠博士に組織が拉致事件 に関わっていることを伝えるが、灰原がそれを盗み聞きしていた。コナンは灰原に、明日少年探偵団らと帰るように 伝え、念のためお守りとして自分が持っていた追跡メガネの1号機を渡し、代わりに灰原が持っていた予備の追跡メガ ネを受け取る。しかしその夜、組織の気配を感じた灰原は一人で部屋を出ようとするが、待ち受けていたウォッカと ピンガに連れ去られてしまう。それに気づいたコナンと蘭が奮闘し、蘭はピンガの首に蹴りを食らわせる。その後、 コナンは阿笠博士と共に、灰原を乗せたウォッカ達の車を追跡する。しかし、ウォッカ達の車は崖から海へ飛び込ん でしまい、コナンも海に飛び込み必死に追いかける。その直後、コナンは海中から組織の巨大な潜水艦が浮上するの を目撃する。灰原の拉致を防げなかったコナンは、博士と共に悔しさを滲ませ、「ぜってぇ助けに行く」と胸に誓 う。その後、パシフィック・ブイでエンジニアの一人が死亡する事件が発生する。防犯カメラの映像を見る限りでは 服毒自殺にしか見えないが、コナンはエンジニアの死は他殺だと考える。さらに、防犯カメラの映像で昨夜の阿笠博 士の車とウォッカ達の車のカーチェイスの映像を探すと、どのカメラにもウォッカ達の車が映っておらず、防犯カメ ラの映像が改ざんされている可能性が浮上。ユーロポールのネットワークセンターに侵入した男が、そこからパシフ ィック・ブイのシステムにハッキングしてバックドアを仕込み、そのバックドアを通してパシフィック・ブイの防犯 カメラ映像を改ざんしたのではないかと考えられた。その頃、潜水艦内には灰原と直美が捕えられており、その潜水 艦にヘリからジンが合流しようとしていた。

登場人物

メインキャラクター

江戸川コナンと周辺の人物

江戸川 コナン(えどがわ コナン)

声 - 高山みなみ 本作の主人公。本来の姿は「東の高校生探偵」として名を馳せている「工藤新一」だが、黒の組織に飲まされた毒薬・APTX4869の副作用で小学生の姿になっている。

灰原 哀(はいばら あい)

声 - 林原めぐみ 本作のヒロインでキーパーソン。元黒の組織の一員で、在籍当時のコードネームは「シェリー (Sherry)」。APTX4869の開発者で、コナンの正体を新一と知る数少ない人物の1人。本来の姿は「宮野 志保(みやの しほ)」だが、組織を離脱する際に自殺目的でAPTX4869を自ら飲み、コナン同様小学生の姿になっている。本作では、直美が持っていたUSBメモリのデータから、ウォッカ達にシェリーが子供の姿になって生き延びていたと思われ、拉致されてしまう。

毛利 蘭(もうり らん)

声 - 山崎和佳奈 本編のヒロイン。新一の幼馴染かつ彼女。関東大会で優勝するほどの空手の達人。

毛利 小五郎(もうり こごろう)

声 - 小山力也 蘭の父親で、「眠りの小五郎」の異名で有名な私立探偵。コナンの保護者。

工藤 新一 (くどう しんいち)

声 - 山口勝平 コナンの正体で、「東の高校生探偵」として名を馳せている高校生。

阿笠 博士(あがさ ひろし)

声 - 緒方賢一 コナンの正体を新一と知る数少ない人物の1人で、発明家。灰原の保護者。本作では、灰原を連れ去ったウォッカとピンガの車をビートルで追い、熾烈なカーチェイスを繰り広げる。

赤井 秀一(あかい しゅういち)

声 - 池田秀一 連邦捜査局 (FBI) の捜査官。かつて「諸星 大(もろぼし だい)」と名乗って「ライ(Rye)」のコードネームで黒の組織に潜入していた。現在は組織に対して自らの死を偽装し、変装して「沖矢昴」と名乗っている。コナン本人には告げていないが、コナンの正体を新一と知る数少ない人物の1人でもある。

沖矢 昴 (おきや すばる)

声 - 置鮎龍太郎 赤井の変装した姿。東都大学大学院工学部博士課程の大学院生と称している。

安室 透(あむろ とおる)/ バーボン(Bourbon)

声 - 古谷徹 警察庁警備局警備企画課(ゼロ)の公安警察捜査官。本名は降谷 零(ふるや れい)。「バーボン」のコードネームで組織に潜入している。普段は探偵の安室 透(あむろ とおる)として、毛利探偵事務所の下の「喫茶ポアロ」でアルバイトをしている。本作では、主にバーボンとして組織のメンバー達と行動を共にするが、その裏で公安を動かしたりコナンに情報を伝えたりする。

水無 怜奈(みずなし れな) / キール(kir)

声 - 三石琴乃 アメリカ中央情報局 (CIA) の諜報員。本名は本堂 瑛海(ほんどう ひでみ)。「キール」のコードネームで組織に潜入している。本作では、組織の任務に従う振りをしながら、灰原と直美が脱出できるよう密かに手引きを行う。

黒田 兵衛(くろだ ひょうえ)

声 - 岸野幸正 警視庁刑事部捜査一課の管理官で、階級は警視。目暮警部や佐藤刑事たちの上司。本作では、八丈島近海に新たに完成する海洋施設の警備に白鳥と共に参加する。

白鳥 任三郎(しらとり にんざぶろう)

声 - 井上和彦 警視庁捜査一課の刑事で、階級は警部。コナンたちの担任教師の小林 澄子(こばやし すみこ)と交際中。

目暮 十三(めぐれ じゅうぞう)

声 - 茶風林 警視庁刑事部捜査一課強行犯捜査三係の警部。

佐藤 美和子(さとう みわこ)

声 - 湯屋敦子 警視庁捜査一課の刑事で、階級は警部補。格闘技に長けていて洞察力も鋭く、射撃の腕も一流。同じ捜査一課の高木 渉(たかぎ わたる)刑事と交際中。

風見 裕也(かざみ ゆうや)

声 - 飛田展男 警視庁公安部所属の公安警察捜査官で、階級は警部補。

ジェイムズ・ブラック (James Black)、ジョディ・スターリング (Jodie Starling)、アンドレ・キャメル (Andre Camel)

声 - 土師孝也(ジェイムズ)、一城みゆ希(ジョディ)、乃村健次(キャメル) 日本で黒の組織の捜査を行っている FBI捜査官達で、コナンの協力者。日本警察には内密で黒の組織の捜査を進めている。本作では、ユーロポールでの事件を受け、ドイツに赴く。

イーサン・本堂(イーサン・ほんどう)

声 - 小山力也 CIAの諜報員で、本堂瑛海の父。故人。組織に殺されそうになった娘の瑛海を守る為、自ら犠牲になった。

宮野明美 (みやの あけみ)

声 - 玉川砂記子 灰原哀こと宮野志保の姉。故人。黒の組織10億円強盗事件の一件で、ジンに殺害される。組織に潜入していた頃の赤井秀一と恋仲だった。

鈴木 園子 (すずき そのこ)

声 - 松井菜桜子 蘭の同級生で親友。鈴木財閥の令嬢で、蘭や新一とは幼馴染でもある。本作では、灰原が老婆に親切な一面を目撃した事で八丈島のホエールウォッチングにコナンたちを招待する。

吉田 歩美(よしだ あゆみ)、小嶋 元太(こじま げんた)、円谷 光彦(つぶらや みつひこ)

声 - 岩居由希子(歩美)、高木渉(元太)、大谷育江(光彦) 少年探偵団の3人。本作では、園子の招待を受けて八丈島へホエールウォッチングにやって来る。

黒の組織

コナンやFBIが追っている、世界規模の犯罪組織。本作では2016年公開の劇場版第20作『純黒の悪夢』以来の登場、2001年公開の劇場版第5作『天国へのカウントダウン』、2009年公開の劇場版第13作『漆黒の追跡者』と合わせて第4作目の登場になる。

あの方

回想とメールの返信にのみ登場。黒の組織のボス。身元は半世紀前に99歳で死去したとされている大富豪で烏丸家の 当主・烏丸 蓮耶(からすま れんや)。今の正体と行方は不明で、ラムも行方を知らずしばらく会っていないことが語 られている。組織のメンバーは「あの方」と呼び、ベルモットだけが「ボス」と呼ぶ。メールアドレスは 「#969#6261」、携帯電話のボタン音は童謡「七つの子」のメロディに似ている。

ラム (Rum)

声 - 千葉繁 ボスの側近にして、組織のNo.2の地位にある最高幹部。コードネームを持つメンバーの中でも別格の存在で、ジン以上の切れ者。左目が義眼。変装して脇田 兼則(わきた かねのり)と名乗り、毛利探偵事務所の隣の寿司屋「米花いろは寿司」で板前をしながら潜伏している。コナンはまだ、脇田の正体がラムであることを知らない。本作ではラムとしての登場のみで、脇田兼則としては登場していない。電話でメンバーとの通話する際には、携帯に内蔵されているボイスチェンジャーで声を変えている。

ジン (Gin)

声 - 堀之紀 組織の実行部隊のリーダーで、新一にAPTX4869を飲ませて幼児化させた張本人。銀色の長髪と氷のように冷たい目が特徴の、長身痩躯の男。洞察力や射撃の能力に優れており、「疑わしきは罰せよ」を信条としている。コナンが新一であることを知らない。

ベルモット (Vermouth)

声 - 小山茉美 組織の女性幹部。正体はかつてハリウッドでアカデミー賞を受賞した大女優「シャロン・ヴィンヤード」で、「千の顔を持つ魔女」と称される変装の達人。組織で唯一コナンの正体を新一と知る人物。組織を裏切ったシェリー(灰原哀)に執着しており、抹殺を企んでいる(シェリーが幼児化していることも組織で唯一知っている)。

ウォッカ (Vodka)

声 - 立木文彦 組織の幹部で、ジンの腹心。

キャンティ (Chianti)

声- 井上喜久子 組織に所属する気性の荒い女性スナイパー。

コルン (Korn)

声 - 木下浩之 組織に所属する無口で冷静なスナイパー。

ピスコ (Pisco)

序盤の回想でのみ登場。ボスに長年仕えていた組織の幹部。表の顔は自動車メーカーの会長で、本名は「枡山憲三(ますやまけんぞう)」。杯戸シティホテルでの任務で標的を暗殺したが、犯行の瞬間をカメラマンに撮影されるという失態を犯してしまった事で、ジンによって射殺された。

テキーラ (Tequila)

序盤の回想でのみ登場。ウォッカと同じ幹部の腹心クラスの地位を持つメンバー。関西弁を話す大男で、主にコンピュータプログラム関係の取引を担当していた。ゲーム制作会社で有能なプログラマーのリストを高額で買い取る取引を行おうとしたが、組織とは無関係の犯人が取引相手を狙って仕掛けた爆弾入りのカバンを開けてしまい、爆死した。

アイリッシュ (Irish)

序盤の回想でのみ登場。劇場版「漆黒の追跡者」で登場したメンバー。ジンと同格の幹部クラスであり、優れた頭脳と戦闘能力を併せ持つ。組織のNOCリスト入りメモリーカードの回収任務を負い、ベルモットの助力で変装して警視

庁に潜入。メモリカードの回収には成功するが、変装が警察にバレて逃げ場を失ったため、ジンの指示でキャンティに撃たれる。更にコナン(新一)を庇う際に再度の狙撃による致命傷を負い、死亡。

キュラソー (Cura?ao)

前半の回想でのみ登場。劇場版「純黒の悪夢」で登場したメンバー。ラムの元腹心。オッドアイの目が特徴で、高い身体能力と戦闘能力に加え、5色のカードを使った優れた記憶能力持つ情報収集のスペシャリスト。警察庁に保管されている世界のNOCリストの強奪任務に当たったが、逃走中の交通事故によって記憶喪失となり、子供たちとの交流による心変わりで組織を裏切る。最後は、観覧車に閉じ込められた子供達を救うため重機による特攻で止め、観覧車に潰されると同時に爆死。彼女の死後、後述のピンガが側近として居座る事になる。

オリジナルキャラクター

組織のメンバー

ピンガ (Pinga) 〈25〉

ラムの側近。ラムから気に入られており、当時腹心であったキュラソーの死後に側近の座に納まった。コーンロウに編み上げられた金色の髪型で、太い唇が特徴の男性。他人を蹴落としてものし上がろうとする貪欲な性格であり、その次なる標的にして、組織の幹部であるジンに強い対抗心を燃やしている。また、ラム以外のメンバーの指示を一切聞かない。細身な体格だが、蘭と渡り合えるほどの格闘技術を持つほか、高度なAI技術を使いこなすエンジニアとしての能力にも長けている。

海洋施設「パシフィック・ブイ」

牧野 洋輔 (まきの ようすけ)

声 - 沢村一樹 「パシフィック・ブイ」の局長。世界各国から集まったエンジニア達を束ねるリーダー。

直美・アルジェント (なおみ・アルジェント) 〈19〉

声 - 種﨑敦美 「パシフィック・ブイ」のエンジニアで、老若認証システムの開発者。「人種差別の無い世界を作りたい」との考えから老若認証システムを開発した。アメリカ育ちで、イタリア人の父親と日本人の母親を持つハーフ。 父親はEU議会議員のマリオ・アルジェント。灰原の本来の姿である志保とは小学生の頃に知り合っており、今でも彼女との再会を待ち望んでいる。

レオンハルト

声 - 諏訪部順一 「パシフィック・ブイ」のエンジニア。ドイツ出身。様々な組織を渡り歩いてきたらしいが、そこで嫌な思いをしたため、日本人を露骨に嫌うなど人種差別的な考えを持つ。

エド

声 - 神谷浩史 「パシフィック・ブイ」のエンジニア。インド出身。マイペースな性格だが、エンジニアとしての腕はかなりのもの。

グレース

声 - 村瀬歩 「パシフィック・ブイ」のエンジニア。フランス出身。気さくで明るい性格。

ユーロポールの捜査官

ハンス

声 - 土田大 ユーロポールの捜査官で、ドイツ・フランクフルトにあるネットワークセンターの管理者。

ニーナ

声 - 宮原永海 ユーロポールの捜査官で、FBIのジョディの友人。ある一件から組織に命を狙われる。

八丈島

丑尾 寛治 (うしお かんじ)

声 - 沢木郁也 八丈島の観光船船長。阿笠博士の発明品を見て感心し、意気投合する。